

第 35 回 評議員会 (2014 年 1 月 17 日開催) 報告

於：朝日生命大手町ビル 大手町サンスカイルーム 24 階(E 室)

1：趣旨

日本ユネスコ協会連盟（以下日ユ）の第 35 回評議員会に関東ブロック選出青年評議員として出席した件について個人の責任の下報告を行う。

内容については当日の資料及び記憶に基づくものであり、数字等の正確性については必ずしも保障するものではないことを明記する。

2：今回の主な内容

- ・第 34 回評議員会議事要録の承認
- ・日ユ協連の事業報告(2014 年 11 月～12 月)及び今後の日程
- ・小部会からの報告
 - i.小部会①：石田喬也評議員
 - ii.小部会②：林美紀子理事
 - iii.小部会③：松波孝之理事
 - iv.小部会④：大津和子理事
- ・2015 年度事業計画(案)、予算(案)
- ・質疑応答
- ・理事・評議員情報交換会
- ・新年懇親会

3：質疑記録

<発言者>大分県ユネスコ協会連盟 佐藤隆士さん

計画書の方の 4 ページデータベースの+15 万は何に使うのか。新規に導入するには少くないか。

<回答者>日ユ事務局

今年度の予算は 300 万円だった。15 万円は、ユネスコ協会(100 協会分)のアカウント開設費。希望のユネスコ協会は、自分でユネスコ協会のデータベースを直接操作できるようになる。

4. 理事・評議員情報交換会(関東ブロック A 群馬・千葉・埼玉)の記録

<議題>会費関連について

小部会②からの提案

①「構成団体の構成員が 24 人以下の場合は、会費は人数によらず構成団体一律 年 25,000 円とする。」

※構成団体のうち、大学ユネスコクラブは従来通り人数×1,000 円にする。

(出された意見・確認してもらったこと)

- ・構成員が 24 人以下の構成団体は、現在 40 協会ある。

- ・公益社団法人になる前は、日ユの正会員は 50 人以上という規定だった。
- ・構成員 24 人以下の団体(40 団体)に、実際に聞いてみる必要がある。
評議員会に参加する団体は、割と構成員が多い傾向にある。
- ・構成員を増やすことの難しさは、首都圏の中でも特に人口がそれなりにいる地域に住んでいる私
たちには想像することしかできないから、直接聞いてみる必要がある。
- ・人数の少ない構成団体は、現在の「構成員数×1,000 円/年」を払うのも難しいところもあるので
はないか。
→実際に、会費が未納の団体もある。
- ・日ユ協連が活動団体ではなく、あくまでも“連盟”であることを踏まえて考える必要がある。
- ・なぜ「大学ユネスコクラブ」だけ特別扱いなのか。(青年が多いから or 構成員の入れ替わりが激しいから)
現在は、学校会員という枠がないので、理由を明確にし、「大学ユネスコクラブ」をしっかりと定
義する必要がある。

5：個人的に印象に残ったこと、及び感想

- ・各部会からの報告と、来年度の事業計画や予算についての提案があったため、全体的に時間がお
し、質疑応答の時間が短かった。
- ・予算案の説明のとき、私の知識不足もあるが、どの項目について説明をしているのかわからなくな
ってしまい、理解しきれなかった。
- ・ユネスコ芸術賞への参加を辞めることで、毎年 2000 万円を組織活動に予算をあてていく。
中でも青少年ユネスコ活動の強化という方針が出され、予算 1,075 万円が増額された。
ユネスコ子どもキャンプ(+60 万円)
青少年ユネスコ活動助成(+185 万円)
青年ユネスコ研修補助制度(+80 万円)
東日本大震災を心と記憶にとどめる交流体験(+150 万円)
高校生カンボジアスタディーツアー(+50 万円)
ESD パスポート事業(+150 万円)
ユネスコ協会就学支援奨学金(募金額に応じて)
寺子屋/世界遺産スタディーツアー(+400 万円)※新規
- ・仙台のユネスコ会館が立ち退きを迫られているという報告があった。
ユネスコ運動の発祥の地、仙台で 3 年後に全国大会が開催されるということで、
改めてユネスコ運動が始まった当時のことについて学び直したいと思った。
- ・松田会長より、「ユネスコ自体が、1 つのユ協では仕事ができなくなっている。協力するこ
とが必要な時代に突入しつつある。」という話があった。構成団体の会費の件や、今後の事業方針に
ついてどうあるべきか、私なりにしっかり考えていきたい。

以上

文責：柏ユネスコ協会 石川郁香
(関東ブロック選出青年評議員)